

<参考1>

天皇杯等三賞について

1 農林水産祭事業の概要

農林水産祭事業は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善と経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施しています。

優秀農林水産業者に対して下賜された天皇杯等の授与と収穫を感謝する「農林水産祭式典」（毎年11月23日に開催）と優秀農林水産業者の技術・経営の紹介、農林水産物の展示・即売等を中心とする「実りのフェスティバル」（平成28年は11月11日～12日開催）の2本柱で行われています。

2 農林水産祭式典における天皇杯等三賞について

過去1年間の農林水産祭参加行事において、農林水産大臣賞を受賞した者の中から、7部門（農産、園芸、畜産、蚕糸・地域特産、林産、水産、むらづくり）毎に、中央審査会の審査を経て選考された優秀農林業者に対して、天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の授与を行います。

3 最近（H16～H27）の本県における天皇杯等三賞受賞者

年度	受賞区分	部門	受賞者
H16	天皇杯	水産	川内町漁業協同組合青年部
H17	内閣総理大臣賞	農産	秋田谷長一郎
H21	天皇杯	農産	有限会社瑞宝
	日本農林漁業振興会会長賞	畜産	鈴木悦雄・鈴木栄子
H22	天皇杯	農産	境谷博顯・境谷キセ
	内閣総理大臣賞	園芸	有限会社せいの農園
H23	日本農林漁業振興会会長賞	畜産	有限会社金子ファーム
	日本農林漁業振興会会長賞	水産	八戸鮫浦漁業協同組合小型船部会
H25	日本農林漁業振興会会長賞	水産	株式会社味の加久の屋
H26	天皇杯	むらづくり	自得地区環境保全会

4 本県における「むらづくり部門」の天皇杯等三賞受賞者

年度	受賞区分	受賞者
S59	内閣総理大臣賞	広船部落会（平川市平賀）
H10	日本農林漁業振興会会長賞	蒔田むらづくり推進協議会（五所川原市金木）
H26	天皇杯	自得地区環境保全会（弘前市鬼檜地区）

<参考2>

豊かなむらづくり全国表彰事業について

1 趣旨

豊かなむらづくり全国表彰事業は、地域住民の自主的努力と創意工夫のもとに、モデル的な地域づくりが展開されている優良な事例を選定し、これを称えることで優良な取組が各地に波及し、地域の連帯感の醸成やコミュニティ機能の強化を図り、農林漁業及び農山漁村の健全な発展に資すること目的に昭和54年度から実施されています。

2 実施主体

農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会との共催により実施しています。

3 選賞対象

農山漁村の集落等の区域を活動範囲とした集団による農林漁業を基盤とした豊かな地域社会づくり、すなわち農林漁業の振興を核とし、生活、文化等を含む幅広い地域活動を展開している総合的なむらづくりを選賞対象としています。

4 推薦・審査

(1) 県知事の推薦

県知事は、県内における「むらづくり」の事例のうち優良と認められるもの1件を東北農政局長に推薦することができます。

(2) 東北農政局における審査

東北農政局長は、(1)により推薦のあった事例の審査を行うため、農林水産業に関し学識経験を有する者から構成される「むらづくり審査会」を設置します。

審査会は、推薦された事例についての書面審査、現地調査等を行い、農林水産大臣賞の受賞に値する事例を決定し、この中から最優良事例1件を選定します。

(3) 天皇杯等選賞中央審査会

天皇杯等の選賞審査を行うため、農林水産祭中央審査委員会では「むらづくり分科会」を設け、農林水産大臣賞受賞事例のうち各地方農政局長が最優良とした事例について、書面審査、現地調査、その他の確認調査を行い、委員会総会において天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞を決定します。